

術適応, 下肢静脈超音波検査の注意点, 手術手技の概略, 低濃度大量浸潤局所麻酔 (TLA 麻酔) のポイント, 典型的な術後経過, 合併症等について示し, 当院における血管内レーザー治療を概説したい. また, 当院では保険外使用のレーザーも複数台導入しており, より低侵襲な血管内レーザー治療を提供するのみならず, 体外照射あるいは光治療による蜘蛛の巣状静脈瘤の治療, 静脈瘤に関連する色素沈着や脂肪皮膚硬化症へのアプローチについても紹介したい.

11 急性心筋梗塞に右室自由壁破裂を合併した1例

三村 慎也・高橋 聡・加藤 香
若林 貴志・岡本 祐樹・杉本 努
山本 和男・吉井 新平・春谷 重孝

立川メディカルセンター立川総合病院
心臓血管外科

急性心筋梗塞後心破裂の90%以上は左室自由壁破裂であるとされ, 右室自由壁破裂の報告は希である. 今回, 急性心筋梗塞に右室自由壁破裂を合併した症例を経験した.

症例は79歳の女性で胸痛を自覚し近医を受診, 心電図でST上昇, 胸部レントゲンで肺うっ血を認め急性心筋梗塞と診断, 冠動脈造影で#3の完全閉塞, #7の75%狭窄を認めた. 心エコーで心嚢液貯留を認め, 急性心筋梗塞後心破裂と診断, ショック状態であり大動脈内バルーンパンピングを挿入され当院へ転院搬送された.

緊急手術を施行, 術中所見で心嚢内に血性心嚢液を認め, 右室にoozing型の心破裂を認めたため右室自由壁破裂と診断, sutureless repairにて止血術施行, 術後43病日に独歩退院した.

12 未挿管下麻酔管理で行えた腹部ステントグラフト2症例

荒井 勇樹**・岡本 竹司*・大久保由華*
堀 祐郎***・榛沢 和彦*・青木 賢治*
竹久保 賢*・名村 理*・土田 正則*
窪田 正幸**

新潟大学大学院 呼吸循環外科学分野*
同 小児外科学分野**
同 放射線医学分野***

当科では通常ステントグラフト内挿術を全身麻酔管理下で行っている. しかし, 挿管下全身麻酔による呼吸管理がハイリスクとなる症例も存在する. 今回, そのようなハイリスク症例に対して筋膜・神経ブロックでの未挿管下麻酔管理で行い得た2症例を経験したので報告する.

〔症例1〕68歳, 男性. COPD, 喘息, 巨大ブラ切除後, 在宅酸素療法導入中の症例.

〔症例2〕61歳, 女性. 頻回にIP増悪を繰り返すSLE症例.

【考察】筋膜・神経ブロックによる麻酔管理下でのステント内挿術は有用であったが, 今回, 鎮静のため静脈麻酔併用となり, 血管撮影時に息止めが行えなかったのが今後の課題と考えられた.

13 Apico-caval juxtaposition に対する心外導管 TCPC の1例

溝内 直子・渡邊 マヤ・白石 修一
高橋 昌・土田 正則

新潟大学大学院 呼吸循環外科学分野

症例は4歳, 男児. 右胸心, 右室型単心室, 肺動脈閉鎖, 両方向性 Glenn 術後. apico-caval juxtaposition を有する症例に対し, 心外導管 TCPC 手術を施行した. apico-caval juxtaposition における心外導管 TCPC 手術では, 心室や椎体による心外導管の圧排, 心外導管による肺静脈の圧排などの問題がある.

本症例では, 心嚢内のスペースも十分に確保でき, 心外導管は左右どちらの経路でも問題なく入ると思われたが, 肺動静脈瘻を生じる可能性を考